

令和8年度むつ市一般会計
当初予算

む つ 市

■ 予算編成の基本方針

市民の皆様にとっては、原材料費や燃料価格などの物価高騰に加え、円安が続いていることなどから、日常生活において負担を感じている状況にあります。

今年度策定した「むつ市財政中期見通し2025」では、むつ総合病院新病棟建設に係る費用が計上されておりませんが、このほど、新病棟建設の方向性が決まりましたので、今後建設費に対する公債費負担により一般会計の自由度が拘束され、厳しい財政運営となることが予想されます。

こうした中においても、市民の皆様の豊かな暮らしと夢や希望を実現していくためには、これまで以上にスクラップ・アンド・ビルドを徹底し、真に必要な施策や事業に財源を重点的に配分することで、将来世代に負担を強くないよう持続可能な財政運営に努める必要があります。

以上を踏まえて、令和8年度予算においても、本市の最上位計画である「むつ市総合経営計画」に掲げる将来像「笑顔かがやく 希望のまち むつ」の実現のため、後期基本計画に掲げる基本方針である「1. 活力あるむつ市の創生」、「2. 教育・子育て環境の向上」、「3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実」、「4. デジタル化の推進」、「5. 危機管理・防災力の向上」を最重点事項の5つの柱として予算編成を行いました。

財政健全化事項は、「むつ市財政中期見通し2025」における「財政健全化の目標」と同一とし、引き続き歳入に見合った財政規模への転換を図りつつも、時代に即した真に必要な事務事業を見極めながら質の高い市民サービスの提供を追求するとともに、効率的な行財政運営と強固な財政基盤の確立を目指すこととしています。

一方で、主要取組事項として、市民の皆様との対話を通じて得た課題や新たな視点を、時代に合った政策へと発展させるための「住み続けられるまちづくり推進枠」、デジタル技術等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げるための「DXによるまちづくり推進枠」、50年に一度の大会に向けて機運を醸成し、多くの市民に携わっていただくことで市民の心をひとつにし、大会を成功に導くための「青の煌めきあおもり国スポ・障スポ開催推進枠」という3つの枠を設定しました。

このような方針の下、予算を編成した結果、令和8年度一般会計当初予算総額は、405億円となり、前年度に比べ4億1,700万円、率にして1.0%の減となりました。

■ 基本方針の概要

むつ市総合経営計画

～「笑顔かがやく 希望のまち むつ」の実現～

1. 活力あるむつ市の創生

●地域おこし協力隊設置事業【継続】 34,966 千円

地域活性化、地域課題の解決等に効果的な地域おこし協力隊を配置し、地域ニーズに対応した地域協力活動を通じて、地域力の維持・強化を図ります。

●住宅向け太陽光発電設備導入補助事業【新規】 6,000 千円

家庭からの二酸化炭素排出量の削減を図り、「地域脱炭素」の取組を推進するため、住宅用自家消費型太陽光発電設備及び蓄電池の導入に要する経費の一部を補助します。

●下北ジオパーク推進事業【継続】 28,255 千円

平成28年9月9日に日本ジオパークに認定された下北ジオパークは、住民主体（ボトムアップ）による活動を中心とし、郷土愛の醸成と地域の価値（ブランド力）の向上を図ることを目的としています。

今後は、ユネスコ世界ジオパークの申請を見据えて、地質遺産の国際的価値の解明と国際交流に重点的に取り組めます。

●地域GXアクセラレーション事業

【新規・住み続けられるまちづくり推進枠】 34,650 千円

2050年カーボンニュートラルの実現を目指すとともに、脱炭素を成長の機会と捉え、地域が主役となり地方創生と脱炭素を同時に実現する「地域脱炭素」に取り組めます。

市全体のエネルギー需給構造の把握や市民、事業者の意識調査等を経てむつ市GXビジョンとして地球温暖化対策推進実行計画（区域施策編）を策定することで、市のGX戦略の方向性を明確化し、市民が健康で暮らしやすく、地域経済が循環・成長を繰り返す持続可能なまちづくりへのロードマップとします。

●スポGOMI大会inむつ市事業

【新規・青の煌めきあおもり国スポ・障スポ開催推進枠】 846千円

老若男女が参加できる「スポGOMI大会」を開催することで、ごみ問題についての意識を向上させるきっかけとし、これからの社会作りに貢献します。今回は、市でも開催される「国スポ・障スポ大会」の機運醸成も目的とし、訪れる人々にきれいな町をPRできる取組とします。

●しもきたハイテクフードバレー推進事業

【新規・住み続けられるまちづくり推進枠】 10,709千円

若者の人口流出を抑制するため、下北の自然の恵みにスマート農業等のテクノロジーの導入の検討、また、スマート農業等の先進企業を誘致し、「フード」（食）という切り口で、生産・加工等において負担軽減・生産性向上・付加価値増による新たな働く場や雇用の創出を目指します。

なお、令和8年度は導入可能性調査としてマーケットニーズの調査、導入に必要な用地やエネルギーコストの支援に関する調査をし、企業誘致要望向けのPR資料を作成します。

●木野部漁港泊地浚渫事業【新規】 6,468千円

木野部漁港の泊地については、大部分に砂が堆積し、漁業活動への影響が生じています。特に、干潮時には漁船が出港出来ない場合もあり、地元漁業者から浚渫工事の要望を受けたことから、安全な漁業活動環境を確保するために、浚渫工事を実施します。

●田名部・大湊地区^{さんさん}閃閃事業負担金【継続】 6,760千円

新しい視点での経済及び文化交流を促すため、友好交流協定を締結した台湾高雄市の提灯を田名部地区・大湊地区へ設置し、台湾に縁のある屋台を出店する夜市を実施することに加え、むつ市の夏祭りの実施環境を整備することで、地域の活性化を図ります。

●むつ市観光地域づくり戦略事業

【新規・住み続けられるまちづくり推進枠】 7,900千円

専門知識を有し、地域づくりを担った実績のある方をアドバイザーとして招致し、観光の現状分析や課題解決に向けたアドバイスを実践することで、当市の観光課題の解決へ取り組み、観光誘客の促進と地域の活性化を図ります。

●国スポ観光案内推進事業

【新規・青の煌めきあおもり国スポ・障スポ開催推進枠】 528千円

国スポでむつ市に訪れた方が観光や飲食を楽しめるよう、国スポ関連施設や市内宿泊場所で配布する近隣観光案内マップを作成することで、地域の活性化を図ります。

●むつ市海外展開“^プl^ス ^ウl^ト ^ラa”事業【継続】 14,135 千円

本市の海外展開をさらに強化し、これまでのシンガポール、台湾高雄市、ロサンゼルスでの取組を継続し、さらなる販路開拓と深い交流を促進します。

また、職員を海外に派遣し、現地との強固なつながりを継続することで、経済・文化等の交流機会を創出し、むつ市の魅力を世界市場に広め、市の持続可能な発展に貢献します。

なお、令和8年度はシンガポール及び台湾高雄市への販路拡大・交流の促進と、台湾高雄市政府への職員派遣を行います。

●地域活性化起業人派遣負担金【継続】 9,900 千円

企業で培われたノウハウ、ネットワーク、マーケティング技術等を活かしながら、本市の魅力や価値の向上、新たな観光コンテンツの創出および、外国人の誘客促進に向けた業務に従事し、地域経済の活性化等のために観光および物産分野における課題解決を図ります。

●地元のおしごと体験事業【新規・住み続けられるまちづくり推進枠】 17,184 千円

こども向け職業・社会体験のパイオニアとして高い認知度をもつ「キッズニア」の監修のもと、地域の未来を担う小・中学生を対象とした地元企業の職業体験イベントを行います。地元企業の一員として働く体験の中で、身近な人へサービスを提供する機会を得ることで、地元が「特別な場所」であるというシビックプライドの醸成を図ります。

●産業用地整備に向けた適地選定調査事業

【新規・住み続けられるまちづくり推進枠】 8,800 千円

2032年を完成目標とする下北半島縦貫道路の全線開通により、本市へのアクセスや物流の利便性の向上が実現し、企業の立地候補地としての可能性が大幅に向上することから、産業団地を整備し、企業の進出を促進します。産業団地に企業が立地することで雇用の増加が期待でき、若者や女性の定住に繋がります。

●湯野川温泉濃々園建替事業【継続】 44,761 千円

施設の老朽化により休止している湯野川温泉濃々園の建替を行い、公衆浴場としての機能維持のほか、車中泊等の新たな滞在型観光のニーズに対応する設備を整備することで、来訪者に安らぎと癒やしの空間を提供し、交流人口や関係人口の構築を図りながら、地域の活性化を目指します。

なお、令和8年度は7年度に引き続き、建設工事を施工します。

●**脇野沢流通センターリニューアル事業【継続】** 36,104 千円

地域住民を主体とする「わきのさわ夢プロジェクト推進協議会」から要望のあった地域の農林水産物を活用したレストランの整備、地場産品の直売をはじめとする地域コミュニティ組織の活動拠点、むつ湾フェリーの発券所等、観光拠点を兼ね備えた買物拠点施設を整備することで、「笑顔かがやく 希望のまち わきのさわ」の実現を目指します。

●**むつ市アウトドアグラウンドデザインステップアップ事業**

【新規・青の煌めきあおもり国スポ・障スポ開催推進枠】 4,114 千円

令和7年度に策定した「むつ市アウトドアグラウンドデザイン」で提案のあったアクティビティルートの紹介をはじめ、地域のグルメ情報及び特産品等、地域の魅力を総合的にプロモーションする冊子をモンベルグループと連携して作成・配布し、さらには、モンベルグループのウェブサイトやアプリ等での配信との連動性により、本市への来訪者の増加を目指します。

2. 教育・子育て環境の向上

●高等学校通学費補助事業【継続】 26,097 千円

市内に住所を有する高校生保護者の経済的な負担軽減を図ることで、将来を担う人材の育成及び地域の活性化等に資することを目的として、下北地区の高等学校にバスや鉄道等の公共交通機関又はスクールバスを利用して通学している高校生の通学費用を補助します。

●八戸学院大学「むつ下北キャンパス」運営費補助金【継続】 44,616 千円

看護師不足という地域課題を解決するため、令和7年4月に開校した八戸学院大学むつ下北キャンパスに係る運営費を補助し、キャンパスの安定運営を支援することで、継続的に看護師等の育成を図ります。

●脇野沢地区高校生通学支援事業

【新規・住み続けられるまちづくり推進枠】 1,475 千円

脇野沢地区の高校生の通学に係る利便性の向上と保護者の負担軽減を目的に、地域振興を推進する地元団体に対して、脇野沢地区から川内蛸崎地区までの送迎運行に係る経費を支援します。

●子ども医療費給付事業【継続】 177,668 千円

18歳までの全てのこどもの医療費無償化を継続することにより、次世代を担うこどもの健康の保持増進とともに、子育て家庭の経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み育てられる環境の充実を図ります。

●預かり保育事業【継続】 15,349 千円

教育・保育施設に通う園児の教育時間以外の預かりや、一時的に家庭での保育が困難となった未就園児に対して、預かり保育を提供します。

●保育施設におけるおむつ無償化事業【継続】 6,189 千円

保育施設に通う0、1歳児クラスの園児を対象とし、施設内で使用するおむつとおしりふきを無償で提供し、保護者と保育士のおむつに係る負担軽減を図ります。

●乳児等通園支援事業（旧こども誰でも通園事業）【継続】 6,148 千円

全てのこどもの育ちを応援し、0歳6か月～3歳未満の乳幼児が保護者の就労要件を問わず月10時間まで、柔軟に教育・保育施設等を利用できる「乳児等通園支援事業」を実施します。

●**保育料無償化事業【新規・住み続けられるまちづくり推進枠】 99,751 千円**

子育て世代家庭の経済的な負担を軽減し、安心して子どもを産み育てられる環境をつくるため、市内に住所を有する、保育園等に通うすべてのこどもの保育料を無償化します。

●**不妊治療費助成事業【継続】 1,500 千円**

保険適用となる生殖補助医療と併せて行う先進医療費の一部を助成します。

また、市外で生殖補助医療を受ける際の交通費の一部を助成することで、経済的な負担軽減を図ります。

●**木育キャラバン事業【新規】 1,804 千円**

国産材を中心とした沢山の木のおもちゃに直接触れ、遊んでいただくことで、子どもから大人まで幅広い世代の方々が、楽しみながら、木の温もりや優しさなどを感じられるとともに、「木」と「おもちゃ」と「人」との出会いが生まれる「移動型おもちゃ美術館」を開催します。

●**学校給食費無償化事業【継続】 245,562 千円**

子育て支援策の一環として、義務教育における保護者の負担を軽減するため、保護者が負担する学校給食費について補助金を交付し、学校給食費の完全無償化を実施します。

●**給食弁当代替者補助金【継続】 1,610 千円**

学校給食費の完全無償化実施に伴い、食物アレルギー等の事情で給食の提供を受けることができない家庭を経済的に支援するため、学校給食の代替として保護者が弁当対応する経費を補助します。

●**小中学校スクールバス運行管理事業【継続】 112,982 千円**

学校統廃合により徒歩での通学が困難となった児童生徒の通学手段として、安心安全なスクールバスの運行を実施します。

●**市立小学校遊具更新事業【継続】 8,668 千円**

児童の心身の成長と社会性を育む教育環境の整備のため、小学校の遊具を更新します。なお、令和8年度は2校（大畑小学校、川内小学校）の遊具更新を行います。

●**小中学校G I G Aスクール端末等整備事業【継続】 87,967 千円**

令和2年度の「G I G Aスクール構想（第1期）」により整備した1人1台端末が更新時期を迎えることから、更新計画に基づき、端末および端末で利用するソフトウェアや周辺機器等の更新を行います。

なお、更新後の旧端末については、一部を予備機等で再利用するほか、その他については情報漏洩対策を徹底したうえで、適切な再資源化を図ります。

●小中学校環境整備事業（市立小中学校トイレ改修）【継続】 14,871 千円

児童生徒の学習環境及び災害時の避難環境を改善するため、市内小中学校のトイレの洋式化を図ります。

なお、令和8年度は、小学校2校（関根小学校、川内小学校）と中学校2校（大湊中学校、川内中学校）の改修工事に係る設計業務を行います。

●伝統行事及び民俗芸能継承育成事業

【新規・住み続けられるまちづくり推進枠】 1,500 千円

むつ市に伝わる伝統行事及び民俗芸能（以下「伝統行事等」という。）が将来にわたって発展し、後世に貴重な文化遺産として継承されることを目指し、民俗芸能団体及び町内会等が、伝統行事等の実施、担い手の育成及び誰もが伝統行事等の体験をとおしてその魅力を感じることができ的事业等に要する費用を支援することで、伝統行事等を通じた郷土愛の醸成を図ります。

●（仮称）学びの多様化学校設置事業（学校備品類）【継続】 9,763 千円

「学びの多様化学校」の令和9年4月開校に向け、むつ市学びの多様化学校設置検討委員会を開催し、専門的知見を得ながら運営等について検討を行います。

また、「学びの多様化学校」として必要な備品を整備します。

なお、「学びの多様化学校」は、閉校となる奥内小学校を改修して設置します。

整備事業費は、令和8年度への繰越事業として令和7年度補正予算に計上する予定であり、設計業務委託、工事監理業務委託及び整備工事（建築、電気設備、機械設備）を行います。

●小学生自然体験学習推進事業【新規】 3,337 千円

市内小学校が実施する宿泊体験学習及び自然体験学習に対し、移動に係る交通費への支援を行います。

●スクールコーディネーター配置事業

【新規・住み続けられるまちづくり推進枠】 5,051 千円

社会環境が多様化・複雑化する中で、保護者や地域からの過剰な要求など、学校だけでは解決が難しい事案に対応するため、教育委員会内に新たにスクールコーディネーターを配置し直接相談を受け付けるとともに、必要に応じ両者から事情を聴取し、専門家の意見も聞きながら事案の解決策を整理・提示します。

●むつ市教育支援センター移転事業【継続】 145,105 千円

令和8年度中に現教育研修センターを旧田名部カトリック幼稚園に移転するための施設改修工事を行います。

同センターの移転により、利用者がより安心・安全な環境を整えるとともに、不登校児童生徒及びその保護者の支援の更なる充実を図ります。

●地域文化・スポーツクラブ推進事業【継続】 152,106千円

「部活動の選択肢が少ない」、「学校単独で試合に出られない」などの市内中学校における部活動の状況を踏まえ、中学生の文化・スポーツ活動の選択肢を広げ、一人ひとりの充実した放課後活動等を確保するため、設立した「むつ市地域文化・スポーツクラブ（愛称：むつ☆かつ）」の運営を支援するための負担金を支出しています。

令和7年度までに全ての中学校部活動が地域展開を完了しました。

令和8年度以降は、こどもからご年配の方までが参加できる総合型の地域文化・スポーツクラブ（仮称）の設立に向けて取り組めます。

3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実

●むつ市高齢者無料乗車証事業【継続】 48,620 千円

マイナンバーカードを所持している75歳以上の市内高齢者の公共交通利用について無料化することにより、積極的な社会参加による健康増進及び福祉の向上並びに公共交通機関の利用促進を図ります。

●むつ市自動運転実証運行事業【継続】 197,728 千円

本市の運転手不足による旅客運送サービスの低下を解消し、公共交通の維持・確保を図るため、将来的な自動運転の本格導入を見据えた自動運転車両の実証運行を実施します。

令和8年度は、地域住民の社会受容性をさらに高めるとともに、冬季間における自動運転車両の実証運行を実施し、公道における安全性の確保や市内交通への影響等の課題抽出を行います。

●むつMaaS構築事業【新規・住み続けられるまちづくり推進枠】 5,843 千円

本市の移り変わる環境の変化に対応できる持続性の高い公共交通ネットワークの形成に向けたむつ市公共交通再編にあたり、総務省の地域活性化起業人制度を活用し、MaaS（Mobility as a Service）の構築を図ります。

●物価高騰対策ごみ袋配布事業【継続】 23,980 千円

物価高騰に対応するための経済対策として、生活必需品である燃えるごみ用の指定ごみ袋（大）を市内全戸に30枚ずつ配布し、家計の経済的負担の軽減を図ります。

●高齢者補聴器購入費助成事業

【新規・住み続けられるまちづくり推進枠】 900 千円

加齢により聴力が低下している65歳以上の軽度・中等度難聴者に対し、補聴器の使用により閉じこもりを防ぎ積極的な社会参加を促すために、補聴器購入費を助成します。

●国スポ応援スタンプラリー事業

【新規・青の煌めきあおもり国スポ・障スポ開催推進枠】 208 千円

今年10月に実施される国民スポーツ大会女子バスケットボール競技日に会場周辺でスタンプラリーを実施します。スタンプラリー達成後は、参加者の皆様がバスケットボール競技の応援に参加し、国スポ競技を盛り上げ、同時に健康づくりにもつながる機会となるものです。

●**予防接種事業（定期B類・任意予防接種）【拡充】 128,946千円**

こどものインフルエンザ予防接種費用助成については、生後6か月から高校3年生までを対象とし、令和8年度は助成額を増額することで、より一層の接種促進を図り、インフルエンザの発症及び重症化の防止に努めます。

また、おたふくかぜワクチンについては、これまで1歳児のみを対象としていましたが、年長児を助成対象に追加し、集団生活が本格化する時期の発症及び重症化の防止に努めます。

●**医療M a a S研究事業【新規・住み続けられるまちづくり推進枠】 365千円**

高齢化の進行に伴い、通院が困難な高齢者が継続して診療を受けられる環境を確保するため、医療と移動サービスを一体的に提供する医療M a a S（Medical Mobility as a Service）の導入に向けた検討が必要です。

令和8年度は視察経費を計上し、導入に必要な体制を調査します。

●**金谷都市拠点地区都市構造再編集中支援事業【継続】 20,000千円**

金谷公園を中心にむつ総合病院、下北文化会館、キッズパーク、大学キャンパス、認定こども園等が立地するエリアであり、都市機能の高度化と各施設との一体的な空間を整備し、都市拠点の形成を進めています。

なお、令和8年度は、すべての人が自由に活動できる包摂的な共生社会の形成を図るため、金谷公園公衆トイレのユニバーサルデザイン化を行います。

●**むつ運動公園改修事業【継続】 179,944千円**

老朽化が進んでいるむつ運動公園内の施設について長寿命化を図るため、施設の適切な改修を進め、利用者の安全性の確保と利便性の向上を図ります。

なお、令和8年度は野球場スタンドトイレ改修工事、野球場夜間照明LED化工事及び水道管敷設工事を行います。

●**国スポ・障スポ推進事業【継続】 1,048,783千円**

「第80回国民スポーツ大会」及び「第25回全国障害者スポーツ大会」の開催に向け、大会の機運醸成、広報・啓発事業や大会参加者の歓迎・おもてなしなどを行うほか、当市を会場として開催する正式競技4競技、デモンストラーションスポーツ1競技、障がい者スポーツ1競技の開催準備及び円滑かつ効率的な大会運営を行い、大会の成功に向けた取組を推進します。

4. デジタル化の促進

●電子契約システム導入事業【新規・DXによるまちづくり推進枠】 561 千円

契約手続きを電子化することで、市及び事業者双方において、手続きの手間や時間の縮減による取引の迅速化や、ペーパーレス化や収入印紙税コストの削減による生産性向上を実現し、地域DXの推進を図ります。

●防災行政無線音声配信システム運営事業【継続】 3,288 千円

令和6年度末に導入した防災行政無線音声配信アプリ「CosmoCast」や希望のあった町内会に配付したアプリ専用無線機に関する運用経費です。

アプリを介した全体への緊急時放送のほか、町内会における普段の連絡手段としての更なる活用を図ります。

●ノーコードツール導入による業務効率化推進事業

【新規・DXによるまちづくり推進枠】 2,110 千円

現在、紙・Excel等、多数の様式に分散している申請・照会・集計等データについて、ノーコードツール「kintone」を導入し、データの一元的管理及び標準化を図ることで、職員の転記作業や照合作業を削減し、事務効率化に繋がります。

●ポータルアプリ導入事業【新規・DXによるまちづくり推進枠】 13,270 千円

スマートフォン等を介して市民が市政情報に触れる機会（デジタル接点）は充実しているといえますが、その一方で複数の手段を使い分けできる方のみに恩恵が偏っているとの見方も可能であり、デジタルデバイドを解消する観点からは課題が山積しています。

高齢者を始めとした新たにスマホ等を所有する方々が安心して、簡単に市政情報を受け取ることのできる、先端技術活用と「思いやり」を両立させたスマートシティを目指すため、利用率の高い住民ポータルアプリを構築します。

●Google Workspace 移行検証事業

【新規・DXによるまちづくり推進枠】 6,309 千円

職員の業務環境において、セキュリティを強化しつつ、WEB会議などの既に社会標準となっているサービスや、AIなどの最先端技術を用いたサービスを利用しやすい環境を低コストで実現するための検証を行います。

●勤怠管理システム導入事業 【新規・DXによるまちづくり推進枠】 5,338 千円

職員の時間外勤務実績や休暇記録等を行うシステムを導入することにより、労務管理事務のペーパーレス化を図るほか、より正確に把握した勤務時間データを基に更なる働き方改革を推進します。

5. 危機管理・防災力の向上

●クマ被害対策事業【継続】 8,630 千円

青森県第二種特定鳥獣管理計画（ツキノワグマ）に基づいて、国及び県の補助金を活用し、頭数管理に向けた計画的な捕獲や放任果樹等伐採などのゾーニング管理、電気柵の原材料支給により農作物被害や人身被害防止を目指します。

●森林病虫害等対策事業【新規】 6,269 千円

市内において、ミズナラ、コナラ、クリやカシワの木にカシノナガキクイムシを媒介者として病原体であるナラ菌に感染し樹木が枯れる「ナラ枯れ」被害が拡大しています。

ナラ枯れの被害対策として、被害木の燻蒸処理（殺虫処理）や未被害木への薬剤注入による感染予防を行うことにより、被害拡大の抑制と枯れた木の倒木や枝の落下による人身や建物等への被害の防止に努めます。

令和8年度は、脇野沢地区の牛ノ首保安林内の立木燻蒸処理のほか、川内町森林公園及び大安寺やすらぎの森（大畑地区）について、被害状況調査を行います。

●防災訓練事業【継続】 710 千円

近年、全国的に発生している自然災害や日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震等の各種災害に対応するため、自助・共助・公助それぞれの役割認識と相互の連携を図るとともに、地域住民の防災意識の高揚を図るため各種訓練を実施します。

●むつ市防災マップ作成事業【新規】 9,474 千円

新たに県が公表する高潮浸水想定区域に基づき、高潮防災マップを作成し全戸配布することで、高潮が発生する危険性のある地域を市民の皆様へ周知・啓発するとともに、防災意識の向上を図ります。

●防災情報電話・FAX配信事業【継続】 676 千円

多様な情報伝達手段の確保を図るため、スマートフォンや防災行政無線による防災情報の取得が難しい環境にある市民の皆様を対象に、各家庭の固定電話又はFAXへ防災情報を配信するサービスを開始します。

●川内消防分署・脇野沢消防分署整備事業（下北地域広域行政事務組合負担金）

【継続】 43,378 千円

川内・脇野沢両消防分署は津波の浸水想定区域内にあり、老朽化が著しく、保有する消防車両の大型化や資機材の増加により手狭な執務環境となっています。また、旧耐震基準時代の建物であり、風水害にも脆弱であることから、執務環境の改善を図り、災害に強い地域の防災拠点として整備を進め、令和8年8月末の工事完了を予定し、同年度内の供用開始を目指しています。

■ 予算の主な増減理由

1. 歳出

①むつ市自動運転実証運行事業	+115,637千円	(82,091→ 197,728千円)
②デジタル防災センター整備関連事業	▲1,079,545千円	(1,083,263→ 3,718千円)
③下北文化会館改修事業	▲122,577千円	(212,621→ 90,044千円)
④地域振興基金費	▲338,253千円	(701,146→ 362,893千円)
⑤障害福祉サービス費	+94,188千円	(1,736,509→1,830,697千円)
⑥生活保護扶助費	+239,620千円	(2,182,900→2,422,520千円)
⑦幼稚園・認定こども施設型給付費	▲105,539千円	(1,064,237→ 958,698千円)
⑧保育料無償化事業	+99,751千円	(皆増)
⑨地域G×アクセラレーション事業	+34,650千円	(皆増)
⑩ナマコ増殖場整備事業	▲132,783千円	(135,643→ 2,860千円)
⑪地元のおしごと体験事業	+17,184千円	(皆増)
⑫湯野川温泉濃々園建替事業	▲323,663千円	(368,424→ 44,761千円)
⑬橋梁長寿命化修繕事業	▲203,028千円	(251,946→ 48,918千円)
⑭舗装長寿命化修繕事業	+43,472千円	(100,947→ 144,419千円)
⑮むつ運動公園改修事業	+73,044千円	(106,900→ 179,944千円)
⑯国スポ・障スポ推進事業	+547,334千円	(501,449→1,048,783千円)
⑰下北自然の家管理費	▲87,572千円	(90,813→ 3,241千円)
⑱むつ市教育支援センター移転事業	+124,191千円	(20,914→ 145,105千円)
⑲地域文化・スポーツクラブ推進事業	▲190,250千円	(342,356→ 152,106千円)
⑳下北地域広域行政事務組合負担金	+291,858千円	(3,034,633→3,326,491千円)
㉑下北医療センター負担金	+99,478千円	(1,878,225→1,977,703千円)
㉒下北医療センター貸付金	+500,000千円	(2,500,000→3,000,000千円)

2. 歳入

① 市税	+557,485 千円 (5,993,282→ 6,550,767 千円)
② 地方交付税	+207,000 千円
・ 普通交付税	+194,000 千円 (10,536,000→10,730,000 千円)
・ 特別交付税	+13,000 千円 (1,727,000→ 1,740,000 千円)
③ 国庫支出金	▲768,832 千円
・ 生活保護費負担金	+179,790 千円 (1,640,527→ 1,820,317 千円)
・ 災害時に備えた社会的な重要インフラへの自衛的な燃料備蓄の推進事業費補助金	▲807,323 千円 (皆減)
・ 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	+156,143 千円 (27,588→ 183,731 千円)
・ 地域未来交付金 (旧第2世代交付金)	▲193,677 千円 (269,972→ 76,295 千円)
④ 県支出金	+140,313 千円
・ 青の煌めきあおもり国スポ関連交付金	+359,281 千円 (350,643→709,924 千円)
・ 青森県核燃料物質等取扱税交付金	+123,867 千円 (542,959→ 666,826 千円)
・ 核燃料サイクル交付金	▲378,000 千円 (400,000→ 22,000 千円)
・ 原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金	+49,180 千円 (皆増)
⑤ 寄附金	▲152,000 千円
・ ふるさと納税寄附金	▲150,000 千円 (300,000→ 150,000 千円)
⑥ 繰入金	▲442,300 千円
・ 地域基盤安定化基金繰入金	▲65,845 千円 (305,845→ 240,000 千円)
・ 減債基金繰入金	▲67,273 千円 (117,273→ 50,000 千円)
・ ふるさと納税寄附金基金繰入金	▲150,000 千円 (300,001→ 150,001 千円)
⑦ 一部事務組合貸付金元金収入	+500,000 千円
・ 下北医療センター貸付金元金収入	+500,000 千円 (2,500,000→ 3,000,000 千円)
⑧ 市債	▲646,600 千円
・ 庁舎整備債 (デジタル防災センター整備事業)	▲356,900 千円 (皆減)
・ 文化会館整備債	▲109,500 千円 (196,800→ 87,300 千円)
・ 観光施設整備債 (湯野川温泉濃々園建替事業)	▲135,800 千円 (187,200→ 51,400 千円)
・ 道路橋りょう整備債 (市道、橋梁等整備事業)	▲181,100 千円 (507,000→ 325,900 千円)
・ 社会教育施設整備債 (むつ市教育支援センター移転事業)	+120,800 千円 (30,700→ 151,500 千円)
・ 借換債	+406,800 千円 (727,100 → 1,133,900 千円)

■ 財源対策

国・県の支出金や基金の活用による歳入確保や事務事業の見直し等による経費の節減など、所要の財源対策を講じている。

1. 歳入の確保

	<u>計 2,551,641 千円</u>
① ネーミングライツ料	<u>3,685 千円</u>
② 原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金	<u>49,180 千円</u>
③ 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	<u>183,731 千円</u>
④ 地域未来交付金	<u>76,295 千円</u>
⑤ 青の煌めきあおもり国スポ関連交付金	<u>709,924 千円</u>
⑥ 青森県核燃料物質等取扱税交付金	<u>666,826 千円</u>
⑦ 核燃料サイクル交付金	<u>22,000 千円</u>
⑧ ふるさと納税寄附金	<u>150,000 千円</u>
⑨ 地域振興基金繰入金	<u>400,000 千円</u>
⑩ 減債基金繰入金	<u>50,000 千円</u>
⑪ 地域基盤安定化基金繰入金	<u>240,000 千円</u>

2. 公共施設維持管理経費及び事務事業の見直しによる効果額

	<u>計 ▲138,371 千円</u>
① むつ市住民パスポートで暮らし快適事業の廃止	<u>▲23,812 千円</u>
② むつ運動公園交通広場の廃止	<u>▲1,494 千円</u>
③ QOL健診事業の廃止	<u>▲1,052 千円</u>
④ MGF開催事業の休止	<u>▲10,500 千円</u>
⑤ 夢の平成号運航事業の廃止	<u>▲12,374 千円</u>
⑥ 下北自然の家の廃止	<u>▲87,572 千円</u>
⑦ 児童生徒の高い志をはぐくむ支援事業の見直し	<u>▲1,567 千円</u>

■ 一般会計の財政構造

区 分	令和8年度	令和7年度	比 較
自主財源	11,261,676千円	10,697,190千円	564,486千円
	27.8 %	26.1 %	—
依存財源	29,238,324千円	30,219,810千円	△981,486千円
	72.2 %	73.9 %	—
義務的経費	17,916,934千円	16,669,842千円	1,247,092千円
	44.2 %	40.7 %	—
人件費	5,050,971千円	4,710,435千円	340,536千円
扶助費	8,167,977千円	7,848,596千円	319,381千円
公債費	4,697,986千円	4,110,811千円	587,175千円
普通建設事業費	2,165,699千円	4,731,651千円	△2,565,952千円
	5.4 %	11.6 %	—

※各項目の整理上、構成比の端数を調整しています。

■ 当初予算規模の推移

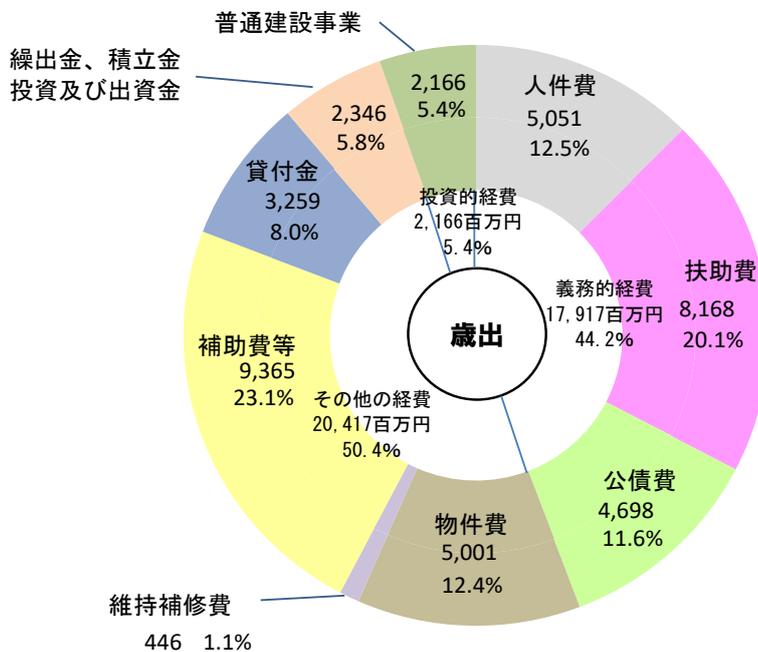
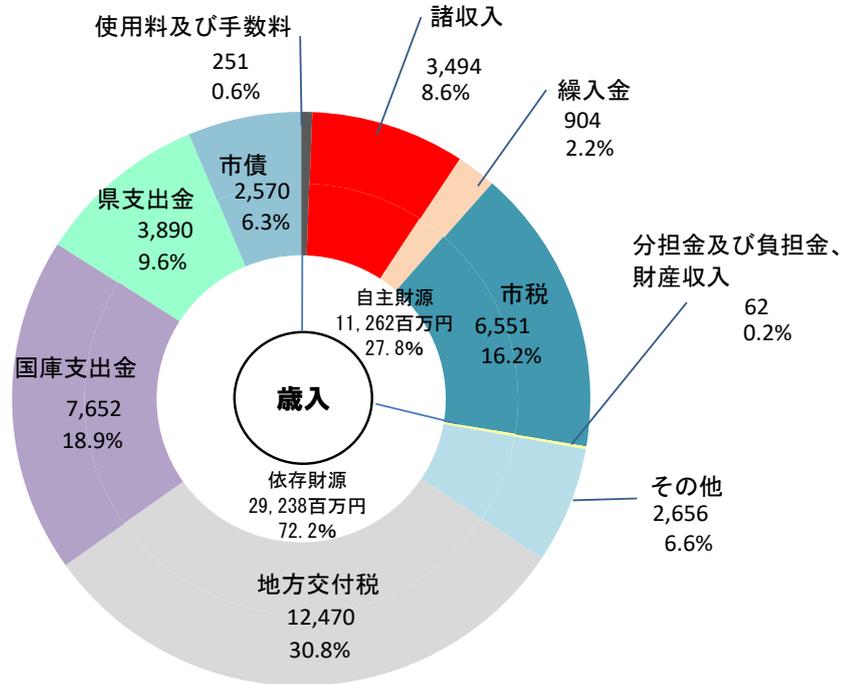
年度	国の予算		地方財政計画		青森県の予算		むつ市の予算		備考
	(億円)	伸率 (%)	(億円)	伸率 (%)	(百万円)	伸率 (%)	(百万円)	伸率 (%)	
5	723,548	0.2	764,152	2.8	682,911	2.2	15,774	0.1	
6	730,817	1.0	809,281	5.9	749,283	9.7	15,532	△1.5	
7	709,871	△2.9	825,093	2.0	642,349	△14.3	16,665	7.3	県は骨格予算
8	751,049	5.8	852,800	3.4	778,899	21.3	17,330	4.0	
9	773,900	3.0	870,596	2.1	818,123	5.0	18,953	9.4	
10	776,692	0.4	870,964	0.0	836,680	2.3	18,457	△2.6	
11	818,601	5.4	885,300	1.6	871,710	4.2	20,671	12.0	
12	849,871	3.8	889,300	0.5	918,390	5.4	18,420	△10.9	
13	826,523	△2.7	893,071	0.4	903,273	△1.6	18,873	2.5	
14	812,300	△1.7	875,666	△1.9	870,175	△3.7	18,862	△0.1	
15	817,891	0.7	862,107	△1.5	816,500	△6.2	19,380	2.7	
16	821,109	0.4	846,669	△1.8	768,500	△5.9	21,917	13.1	
17	821,829	0.1	837,687	△1.1	740,100	△3.7	29,108	32.8	
18	796,860	△3.0	831,508	△0.7	722,100	△2.4	28,538	△2.0	
20	830,613	0.2	834,014	0.3	707,800	△1.3	29,313	1.3	
21	885,480	6.6	825,557	△1.0	691,200	△2.3	32,058	9.4	
22	922,992	4.2	821,268	△0.5	692,300	0.2	33,950	5.9	
23	924,116	0.1	825,054	0.5	692,800	0.1	34,600	1.9	
24	903,339	△2.2	842,764	2.1	707,500	2.1	32,764	△5.3	
25	926,115	2.5	844,532	0.2	699,500	△1.1	32,764	0.0	
26	958,823	3.5	855,745	1.3	691,000	△1.2	32,773	0.0	
27	963,420	0.5	877,675	2.6	700,800	1.4	32,372	△1.2	
28	967,218	0.4	876,702	△0.1	697,000	△0.5	32,914	1.7	
29	974,547	0.8	879,986	0.4	684,600	△1.8	32,860	△0.2	
30	977,128	0.3	881,087	0.1	663,000	△3.2	38,216	16.3	
1	1,014,571	3.8	907,975	3.1	665,000	0.3	36,358	△4.9	
2	1,026,580	1.2	917,473	1.0	681,600	2.5	36,350	△0.02	
3	1,066,097	3.8	902,478	△1.6	718,600	5.4	38,700	6.5	
4	1,075,964	0.9	909,928	0.8	733,300	2.0	38,810	0.3	
5	1,143,812	6.3	923,584	1.5	738,400	0.7	40,502	4.4	
6	1,125,717	△1.6	939,269	1.7	702,200	△4.9	40,051	△1.1	
7	1,151,978	2.3	973,566	3.7	709,500	1.0	40,917	2.2	
8	1,223,092	6.2	1,026,800	5.5	751,400	5.9	40,500	△1.0	

※平成24年度以降の地方財政計画は通常収支分と東日本大震災分の合計としています。

■ 令和8年度むつ市一般会計予算 (財源別・性質別)

予算額 40,500百万円

(単位：百万円)



※各項目の整理上、予算額及び構成比の端数を調整しています。